

網走市特定環境保全公共下水道 呼人第 1 幹線マンホールポンプ所設置工事(機械)

(網走湖荘マンホールポンプ所)

特 記 仕 様 書

令和 7 年度

## 目 次

### 第1章 総 則

#### 第1節 一般事項

#### 第2節 現場における注意事項

#### 第3節 機械設備工事範囲

#### 第4節 概算単価計上発注方式について

## 第1章 総 則

### 第1節 一般事項

#### 本仕様書の適用

工事は本仕様書に定める仕様に従い施工する。

1. 材料及び工事の検査（材料の調査を含む。以下同じ）並びに工事施工に伴う実測等に必要な費用は、請負人の負担とする。
2. 官公署の検査に必要な費用は、請負人の負担とする。
3. 明記のないものであっても、工事施工上、当然必要な費用は請負人の負担とする。

#### 疑義の解釈

設計書（仕様書、図面）に定める事項について疑義の生じた場合の解釈及び本工事の施工の細目については、当該工事を担当する本市職員（以下職員という）の指示に従うこと。日本下水道事業団監修「機械設備工事一般仕様書」および諸法令・工事に関する法規を準拠すること。

#### 関係法令の遵守

請負人は工事施工に当たり、諸法令及び工事に関する諸法規を遵守し、工事の円滑なる進捗を計るとともに諸法令の運営適用は、請負者の負担と責任において行わなければならない。

#### 関係官公署への許認可申請

1. 工事施工のため、必要な関係官公庁その他に対する諸手続きは、請負人において迅速に処理しなければならない。
2. 関係官公庁その他に対して交渉を要するとき、又は交渉を受けた時は遅滞なくその旨を職員に申し出て協議するものとする。

#### 提出書類

請負人は別に示す様式により、指定期日までに関係の書類を提出しなければならない。

#### 資格を必要とする作業

資格を必要とする作業は、それぞれの資格を有するものが施工しなければならない。

#### 障害物件の取り扱い

工事中障害物件の取扱い及び取りこわし材の処置については、職員の指示又は、承認を受けるものとする。

#### 工事の中止

1. 請負人が職員の指示に従わない場合又は、請負人に不都合な行為があるときは、工事の中止を命ずることがある。
2. 前号の場合又は、地下埋設物の障害等により、工事の全部又は、一部の中止を命ずることがあっても、この為工期を延長しない。但し事由が請負人の責でない場合、又は中止期間が工期を超えると、その他やむを得ない場合は、延長することがある。

#### 工事用電力及び用水

工事及び検査に必要な電力、用水及びこれに要する仮設材料は請負人の負担とする。

#### 工事対象物の管理義務

工事が完成し、引渡し完了までの工事対象物の保管の責任は、請負人とする。

#### 工事完了後の処理

工事の完了した時は、請負人はすみやかに不要材料及び仮設物を処分撤去し、清掃しなければならない。

#### 完成期限

完成期限は、契約締結の翌日から、令和 8 年 3 月 19 日とする。

試運転調整については、監督員の指示により、完成期限内に速やかに行うものとする。

#### 保 証

機器及び設備の保証期間は、引渡し完了後 2 年とする。

## 第2節 現場における注意事項

### 事故防止

1. 工事中は事故防止に努めなければならない。
2. 工事中は、所要の人員を配し、現場内の整理整頓及び保安に努めなければならない。
3. 重要な工作物に近接して工事を施工する場合は、あらかじめ保安上必要な設置緊急時の応急措置及び連絡方法等について係員と協議し、これを遵守しなければならない。
4. 締切排水等の仮設及び、特に重量物を行う足場は、係員の承認を受け堅固な構造としなければならない。
5. 豪雨、高潮、及び台風時等出水のある時は、請負人は昼夜の別なく所要の人員を現場に待機させると共に、応急措置に対する準備をしておかなければならない。
6. 前号の場合において必要があると認めるときは、工事を中止し、又は仮施設の設置を行わせることがある。
7. 工事現場の秩序を保つとともに、火災、盗難等の事故防止に必要な措置を講じなければならない。

### 事故発生時の措置

事故が発生した時は、直ちに職員並びに関係官公署に連絡するとともに、応急措置を講じて被害を最小限にとどめなければならない。又、事故発生の原因及び経過、事故による被害の内容等を直ちに報告しなければならない。

### 従業員の安全管理

請負人は、工事の施工にあたっては、常に細心の注意をはらい、労働安全衛生法を遵守し従業員の安全をはからなければならない。

### 公害の防止

請負人は工事の施工にあたっては付近居住者に迷惑のかからぬよう、公害の防止に努めなければならない。

## 施設の保全

既設構造物を汚染又はこれ等に破損を与えた時は、直ちに請負人の費用で復旧しなければならない。

請負人は常に工事の進捗状況について注意し、予定の工事工程と実績とを比較検討して、工事の進行を計らなければならない。なお、その進捗状況について職員に報告しなければならない。

## 他工事との関係

本工事と併行して施工する他の工事がある場合、職員の指示に従い、両方で十分に工事の調整を行い、工事遂行に支障のないようにしなければならない。

本工事は、改築更新を行うため、下記事項を遵守すること。

1. 改築更新に適した施工計画書を作成し、運転管理者と調整を図るものとする。
2. 停電作業を行う場合は、運転管理に支障が生じないように十分協議して実施するものとする。
3. 改築更新（遠方監視設備）は、年度毎に段階的に行われるものであり、本工事と既設・別途工事・将来工事との整合を考慮して行うものとする。

### 第3節 機械設備工事範囲

#### 1. 工事内容

マンホールポンプ所機械設備更新に伴う機械設備工事。

#### 2. 設備内容

##### (1) 網走湖荘マンホールポンプ所設備

- 1) 汚水ポンプ据付工事
- 2) ボール弁・逆止弁据付工事
- 3) 機械配管工事
- 4) 撤去工事
- 5) その他必要な工事

#### 第4節 概算単価計上発注方式の実施について

1. 本工事は契約対象の一部の単価及び歩掛を概算金額とすることにより、建設資材価格等の調査に時間を要する工事を早期発注し、適正な工期確保を目的とする「概算単価計上型発注方式」の試行工事である。

当該設計書では、建設資材価格等調査が必要な資機材単価、歩掛が含まれており、調査等に時間を要するため、早期発注の観点から概算単価を用いて予定価格を算出している。

建設資材価格調査等の調査が完了次第、設計変更を行うものである。

2. 工事期間中に概算単価打ち合わせを開催し、設計内容を受発注者間で確認後に設計変更を行うものとする。

また、概算単価打ち合わせ内容については受注者にて協議資料を作成すること。

概算単価確認打ち合わせの開催は次のとおりとする。

(1) 第1回

実施時期：契約締結後、受注者が設計図書及び現地の確認完了時

会議内容：概算で発注した項目（単価、歩掛）について受発注者で確認

(2) 第2回

実施時期：実勢価格調査等により策定した単価、歩掛が確定した時点

会議内容：設計単価の変更等を受発注者で確認

(3) 上記のほか、受発注者いずれかの要請により、会議を開催することとする。

3. 概算単価としている項目は次のとおり。

(1) 見積策定単価

汚水ポンプ：2基